

こうとう民報

2015年7月号 128

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 とうとう民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話 3648-5155 FAX 3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/



全国のたたかいに連帯し「アベ政治を許さない」と唱和しポスターを掲げる参加者

「アベ政治を許さない」大集会

「戦争法案ぶっ潰せ江東行動大集会」が7月18日13時30分から、江東区文化センターレクホールで開催され400人の参加者で会場は一杯になりました。

大集会は松平晃さんのトランペット演奏で始まり、杉浦敏郎実行委員長の開会の挨拶のあと、「アベ政治を許さない」のポスターを全国と連帯し、参加者全員が一斉に掲げました。

第一部はこの集会の代表よびかけ人で元日弁連会長の宇都宮健児さんが「戦争法案と憲法改悪を許さないために」と題して講演。

「戦後70年、憲法施行68年のいま、憲法は最大の危機を迎えている。一昨年の参院選の結果、明確に改憲を目指す政党的国会議員が3分の2に達しなかつたので、憲法9条をはじめとする憲法全体の明文改憲の動きが先送りとなり、憲法解釈を変えて集団的自衛権行使を容認することによりア

メリカとともに戦争ができる体制づくりを先行させようとしている。「この憲法違反の戦争関連法案がアメリカの対日要求『ガイドライン』の再改定によるものであること』など、安倍政権の改憲をめぐる策動を事



本会議の代表質問では、「戦争法案」は「二度と戦争をしない」と誓った憲法9条と「江東区平和都市宣言」に反するものであり、東京大空襲で大変な被害を受けた江東

「戦争法案」は「二度と戦争をしない」と誓った憲法9条と「江東区平和都市宣言」に反するものであり、東京大空襲で大変な被害を受けた江東

「戦争法案」は 何としても廃案に

区長として「廃案を求めよ」とせまりました。

残念ながら江東区長は「軍事力は必要」「平和のための切れ目ない体制整備」と、政府見解を容認する姿勢です。

陳情審議の企画総務委員会では、今議会で提出しないと間に合わない陳情であるにもかかわらず、自民党の委員長が「初回なので不明な点の質問のみ」と発言に制限をかけた露骨な審議妨害で世論の広が

「戦争法案反対」ロングラン宣伝 区民要求実現江東区大運動実行委員会



15日夕刻、大運動実行委員会は「戦争法案反対」ロングラン宣伝を東陽町、辰巳駅頭でおこない、8団体20名が参加しました。この日の強行採決に対し次々とマイクを握る各団体の参加者は「日本を戦争する国にするな」「殺し殺される戦争法案はただちに撤回せよ」と怒りを込めて訴えました。実行委員会では準備したチラシ1000枚が次々受け取られ短時間でなくなりまし

議会に陳情も出される

議会には区民から「戦争法案」反対の意見書を政府に提出することを求める陳情も出されました。

子どもたちに 平和教育を

今年夏には子どもたちが使う教科書を決めます。憲法の理念に反し、歴史を歪め侵略戦争を美化する「育鵬社」の教科書を使わせよという運動があるなか、共産党区議団は「まちがった歴史を教えるはならない」「憲法に基づいて平和を守る教育」を大切にすることを求める教科書を使うように求めています。

第二部は、東京大空襲の

第二部は、東京大空襲の炎のなかを生き残った亀谷敏子さんの体験談が始まり、区在住の子育て中の母親が「声をあげることは勇気がいるが、今声をあげなければならぬ」と発言。青年劇場俳優と地域有志の皆さんによるコント「戦争法案ぶっ潰せ報道ステーション」は風刺と笑いで盛り上がりまし

浴衣やハッピー姿で手作りお神輿を担ぎ、鳴り物入りで「戦争法案廃案」「安倍政権ぶっ潰せ」をコールしながら舞台上に登場。「パレードは下町らしく祭り」のイメージで開催します。7月25日午後5時から江東公園で開催される「戦争法案ぶっ潰せ江東行動1000人パレード」に多くの参加を呼びかけました。

脚 駭

大型台風の襲来で梅雨前線が刺激され、日本列島は水浸しになって各地に大きな災害をもたらしました。国会では、日本共産党創立記念日の15日、安保法制特別委員会「戦争法案」が強行採決され、翌日には衆院を通過して参院に送られました。強行採決の主役を務めた浜田委員長は「10本の法律を1本にまとめて審議するとは」と呟いたとか、その理不尽な手法を自ら告白する始末です。法案審議が進められるほど、その違憲の本質が明らかになり、廃案を求める国民の各階層の集会やパレードが全国にひろがってきました。国会での多数を頼んだ暴挙は、世論に追い詰められた安倍政権の窮余の策です。憲法9条は今年もノーベル平和賞にノミネートされました。民意を踏みにじり、国際世論にも背を向けて歴史に逆行する暴政は、遠くない将来に己の墓穴を掘ることになるでしょう。憲法を廃棄するファッショ的野望は「60日ルール」での成立を目論んでいます。この時期こそ国民がこぞって戦争の惨禍を想起する戦後70年の夏です。江東でも18日の大集会で澤地さんたちの提唱する「アベ政治を許さない」ポスターを掲げ、さらに25日には区民に呼びかけるパレードが敢行されました。

「浅野セメントの公害第一号」



浅野セメント工場

概説

江東の歴史

(46)

深川や灰が降るとて鳴く蛙 春城

深川区清住町の浅野セメント工場の煙突から吐きだされる煙は、日本の都市公害の第一号でした。

1883(明治16)年当初から粉塵で吐血者をだし、88(明治21)年にも廃水が問題となり、会社も公害防止につとめて住民の苦情も一応はおさまりました。

ところが、1902(明治36)年、セメントの需要が高まり、米国で開発された高性能の回転窯に変えると、粉塵量が激増して工場外に飛散し、民家の屋根にも雪のように降り積りました。

1911(明治44)年、浅野セメントの公害は深川区民との全面対立となり、3月19日の東元町(高橋)石井電気館での「降灰問題講演会」は聴衆が溢れるほどの盛況でした。

「浅野セメントの撤退は国家の急務なり」などを演題に、愛児3人を失った思いが語られました。翌日には、代議士高木益太郎が河野中ら31人の賛同で桂首相に浅野セメント粉害事件について質問注意書を提出。この問題は足尾鉾毒事件と並ぶ大事件として注目されました。深川区議会は傍観するも、菊地量平ら深川青年団が運動の中心で活躍しました。

当局は無視もできず、河野ら政財界の有力者4人に仲裁人として解決にあたらせ、3月27日、会社は、1916(大正5)年までに深川工場を撤廃する契約を、菊地青年団長との間で結びます。住民のおおきな勝利でした。

会社の計画は、鶴見、川崎の海岸埋立てで新工場建設でしたが、1914年の第一次大戦で資材入手が困難になり、工場撤去期限は1年延期。この間、会社は米国のコットレル式集塵法とiriいれ、粉塵処理をかなり解決します。1917(大正6)年12月、菊地ら区民代表は集塵装置の性能を認め、さきの契約書の破棄に同意して、浅野セメント公害問題は解決をみるにいたりしました。

(注)官営工場とその払い下げ(34)参照



石川事務局次長に申入れる革新懇の人たち



歴史や憲法を歪める 教科書を子どもに読さない

7月2日、江東革新懇(代表世話人・後藤寛)は、中学校の歴史・公民の教科書採択にあたり、山崎区長が加盟した「教育再生首長会議」がすすめる育鵬社や自由社の教科書採択しないように江東区教育委員会・宇佐美衛委員長と岩佐哲男教育長に申し入れました。当日は正保区議の紹介で区教委の石川事務局次長に申し入れ書を手交し、話し合いを行いました。

なお、教育センターに設置された教科書展示会には、前回(11年度360件)より多くの383件のアンケートでの意見が寄せられました。

中学校の歴史・公民の教科書採択に関する申し入れ書

育鵬社と自由社の歴史教科書は、太平洋戦争を「自存自衛」「アジア諸国民の解放」のための戦争と記述するなど、「日本は正しい戦争を行った」という認識を子どもたちに持ちこむものとなっています。侵略戦争と植民地支配への反省とその誤りの清算は、戦後の日本社会の出発点であり、国際社会の一員としての絶対条件ともいえるべきものです。それを否定する両者の教科書を採択すべきではありません。

また、育鵬社の公民教科書は、戦前の大日本帝国憲法を美化する一方、戦後の日本国憲法をアメリカにおつけられたものとし、憲法第9条などの改憲へと誘導するものとなっています。戦後70年にわたって日本が戦争に巻き込まれずにきたことについて平和主義が果たした役割にもまったくふれていません。

また、子どもたちが日本国憲法理念を理

江東区社保協主催 「標的の村」上映会を開催



7月6日江東区文化センターでドキュメント映画「標的の村」の上映会が開かれました。上映会は、午後と夜の2回開催され約500人が参加しました。



映画「標的の村」は、沖縄県・東村高江集落の周囲にオスプレイ基地建設との住民のたたかいを描いた三上知恵監督の作品です。

行事日程

- 8月19日(水) 第113回憲法守れ9の口宣伝行動(区内駅頭7ヶ所ほか) 大運動実行委員会
8月22日(土) 18時30分、青年講座 原水禁大会報告(産業会館) 青年後援会
8月24日(月) 17時30分、消費税増税反対宣伝 署名行動(東陽町駅) 江東各界連